

建コン協総会

新会長に野崎秀則氏

RCCM
試験

コロナ禍受け新方式導入



野崎新会長

建設コンサルタンツ協会（建コン協）は27日に定時総会を開き、役員改選で新

会長にオリエンタルコンサルタンツ社長の野崎秀則氏を選任した。副会長にはパシフィックコンサルタンツ社長で関東支部長の重永智之氏と、酒井利夫氏が就いた。総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的にオンライン開催した。総会では21年度の事業計画も報告した。建設コンサ

ルタント賠償保険制度については、民法改正を踏まえた制度内容の検討、会員ニーズへの対応、業務領域拡大を踏まえた保険制度の必要性の検討、保険加入の義務化検討などを行う。適正な責任担保制度の確立に向けて検討し、委託契約約款の改正を含め提案していく。

昨年度のRCCM試験をコロナ禍で中止したため、コンピュータを使った「CBT試験」を導入する。更新登録のウェブ化や、ウ

ェブを活用した自主学習改善などにも取り組む。

会長を退任した高野登氏は「この2年間、協会活動の柱である働き方改革、納期の平準化、技術力による選定、技術者単価のアップ、公共事業予算の確保などで改善が図られた。長年の課題になっていた標準契約約款の見直し、損害賠償と保険制度、資格制度の在り方などを検討してきたが、今後これらの課題が改善されることを期待する」と述べた。